

## 釋迦堂

現在の岐南町にあり、敷地は約60坪(200㎡)あった。旧暦3月21日と9月21日には参拝者に接待しており、雨天でも堂の前でできるように5坪位の瓦ぶきの屋形が造られていた。

まわりに地藏様があり、裏に墓石(杉氏に殉じた杉氏遺臣の墓といわれている)があり、キシヤの木という直径30cmぐらいの木もあった。

この釋迦堂は、明治42年ごろ福田寺へ奉納され、イチョウの木のそばに安置されている。地藏様は、後に西辻の有志が弁財天様の所に勧請された。

福田寺境内の釈迦堂



## 岐山の神社、寺院

### 杵崎神社

慶応年間の末期、野上氏の遺臣で野村姓の有志が集まり、伝説の地、御貴庵丘のこの地二反七畝(2678㎡)を買って、杵崎神社(風鎮の神)を安置し杵崎講を始めた。

講員は毎年旧暦4月吉日に祭りをし、すもうもあった。戦時中一時中止されていたが、戦後地区住民一同により5月4日に祭りが行われることになった。また、8月4日に青田祈禱盆踊りが催され、8月31日には二百十日の風を静め、豊作の祈願をしている。

ここには、竈(かまど)神社・大歳神社・妙見社・地主神社・出雲大社も一緒に祭られている。

